

令和3年度 第9回市長定例記者会見

日時： 令和4年2月4日（金） 11:00～

場所： 庁議室

本日はお忙しい中、お集まりいただきありがとうございます。

それでは、第9回定例記者会見を始めたいと思います。

まず始めに、新型コロナウイルス感染症については、全国的な感染急拡大に伴い、青森県においても新規感染者数が連日300人以上、400人に迫る勢いと、これまでにない数字で推移しております。とりわけ、保育施設や教育施設等でのクラスターが多数発生しており、そこから新たなクラスターへと波及するなど、複合的に連鎖する感染拡大は、歯止めが利かない深刻な状況となっております。

そうした中、弘前市が1月27日に「まん延防止等重点措置」の適用を受け、さらには、青森市においてもクラスターが多発するなど新規感染者が急増しております。

当市は、弘前市と青森市の間隔的な位置にあり、通勤及び通学圏であることから、日常的な人の往来も多く、その影響が懸念されます。

市民や事業者の方からは、当市の「まん延防止等重点措置」適用等について問い合わせが寄せられておりますが、現時点では、重点措置適用のレベルには至っておりません。しかしながら、当管内及び当市における新規感染者の急増と、青森市及び弘前市の感染状況を考慮しますと、事態はさらに厳しさを増すことが予想されます。

こうしたことを踏まえ、今後とも感染状況等を注視しながら、五所川原保健所と連絡を密にし、早め早めの適切な判断をするとともに、県の動向を見守りつつ、然るべき状況になった時には躊躇せず県と協議し、迅速に対応してまいります。

市民の皆さまには、引き続き、日常生活における基本的な感染防止対策の徹底、さらには、家庭内での感染が増加しておりますので、各家庭における感染予防、体調管理について、最大限の注意を払っていただきますようお願いいたします。

報道機関の皆さまにおかれましても、報道等についてご協力をよろしくお願いいたします。

続きまして、本日、新型コロナウイルス感染症対策及び除排雪対策に係る補正予算を専決処分いたしましたので、その内容についてお知らせいたします。

まず、『PCR自費検査費用の助成』についてであります。

当市では、株式会社木下グループとの連携により、五所川原市指定PCR検査所において、無症状の方を対象とする自費検査を実施しておりますが、県の無料化事業により、県民の方は2月28日まで無料で検査が行えることとなっております。

しかしながら、現在の厳しい感染状況を考えますと、地域の安全・安心を守るためには、県の事業終了後も、当面は気兼ねなくPCR検査を受けられる環境を整えることが不可欠でありますので、市民の方については、3月31日まで無料で検査が受けられるようにしてまいります。

なお、県の事業が延長される場合は、引き続き円滑に運営できるよう対応してまいります。

続いて、『新型コロナワクチン接種』についてであります。

ワクチンの追加接種につきましては、2月1日から一般の方々への接種を開始しており、明日5日（土）からは、市役所本庁舎において集団接種も開始いたします。

現在、接種間隔の短縮は、教育・保育施設や訪問介護などの従事者に加えて妊産婦やそのパートナーも対象としておりますが、ワクチンの入荷状況を見ながら、出来るだけ早い時期に全ての方々の接種間隔を6カ月間隔に短縮し、実施してまいります。

また、5歳から11歳の子どもの対象とした接種については、先月に希望調査を行ったところ、対象者約2,400名のうち約5割の方が接種を希望されております。希望者全員に接種できるよう、集団接種を3月5日（土）から市役所本庁舎で、個別接種を3月上旬から市内の1医療機関で行うこととしております。接種については、重症化リスクの高い基礎疾患を有する子どもから優先して行うこととしておりますが、こちらも現在、対象となる方への需要調査を行っているところであります。

最後に、接種券及び予約についてであります。基礎疾患を有する方に対しては、2月10日に接種券を発送し、16日からの予約開始、一般の方に対しては、2月18日に接種券を発送し、22日からの予約開始となっております。予約は、これまでどおりコールセンターやWEB、LINEなどで行う予定となっております。

次に、『除排雪対策』についてであります。

先般お知らせしましたとおり、昨年12月27日に設置した豪雪警戒連絡会議については、その後の降雪により市内3カ所の観測地点で積雪深が基準を超え、今後、さらなる降雪による市民生活への影響を鑑み、1月31日をもって豪雪対策本部へ移行したところです。

対策本部では、降雪状況等の情報収集を行うほか、特に必要と考えられる雪盛り場の排雪作業や通学路及びスクールバス乗降場所の除排雪作業を強化してまいります。

除排雪事業の補正予算については、今年度2回目の専決処分となりますが、除雪の出動回数は昨年同時期の2倍以上となっており、雪寄せ場の確保や排雪等も実施してまいりましたが、今後も低温が続くことが予想され積雪の減少が見込めないことから、3億円を追加いたしました。今後も市道幹線と生活道路及び歩道の除排雪をしっかりと行い、市民生活に支障が出ないよう努めてまいります。

また、高齢者等の除雪が困難な世帯に対する市職員による除雪についても、2月3日時点で100軒の除雪が完了しており、引き続き降雪状況に応じて支援してまいります。

ます。

以上となりますが、記者の皆さまには、当市の情報発信へのご協力をよろしく願
いいたします。